

若草の子

【学校課題】児童の居場所となる学級・学校の創造

令和2年度 苫小牧市立若草小学校 学校だより

令和2年6月26日発行 保護者版 NO, 4

○学校教育目標

考える子 思いやりのある子
やりぬく子 元気な子

○今月の格言

今日も生涯の一日なり

子供の自己肯定感や自己有用感を育むことの大切さ！

校長 毛利 毅

6月1日の学校再開から1か月が過ぎ、子供たちも生活リズムを取り戻し、クラスの友達や担任にも慣れて楽しく学んだり元気に遊んだりする姿が多く見られるようになってきました。

しかし、長期の休業に加え、学校再開後の「新しい生活様式」による身体的距離の確保や密着会話の回避に伴う学習活動の制限、学校行事の自粛のため、子供たちの心理的なストレスも蓄積され、いじめや不登校といった問題や学習意欲の欠如を招く可能性も高まっている状況です。学校としては、子供たちの変化にアンテナを高くし、一人一人の心に寄り添い、人間関係づくりに重点を置いた指導に努めているところですが、気付いていないことも多くあることと存じます。保護者や地域の皆様には、今後とも子供の不安や悩みの解消及び変化にご留意いただくとともに、気になることがございましたら小さなことでも結構ですのでご連絡くださいますようお願い申し上げます。

さて、子供の自己肯定感や自己有用感を育むことの大切さについてのお話です。自己肯定感とは、自尊感情とも言いますが、「自分は価値ある存在だと自分自身に自信をもつこと」です。また、自己有用感とは、「自分は周りの人の役に立っている。自分は有用だ」と思える感情です。

本年度の学校経営の重点課題は「子供の居場所となる学級・学校の創造」ですが、そのための重点として、「分かった・できたを引き出す授業づくり」と「役割を果たし、友達と仲よく活動する学級づくり」の2点を掲げました。いずれも、自己肯定感や自己有用感を育むことと直結します。

この自己肯定感や自己有用感を育むことがなぜ大切なのか。改めてネット等で調べていただければと思いますが、以下のような理由が挙げられます。

- 物事を肯定的に捉え、何事に対しても積極的に取り組み、学力も高まりやすい。
- 人のよさを認めたり、優しく接したりすることができる。
- 周りへの貢献意欲が高まり、人から信頼されるとともに、感謝の気持ちも高まってくる。

いずれも、よりよい人生を送り、よりよい社会の形成者となるために大切な資質・能力ではないかと考えます。ところが、様々な調査結果から日本の子供たちの自尊感情は、他国と比べて低いことが、以前から問題視されてきました。学校・家庭・地域がそれぞれの役割を果たし、子供たちの「自己肯定感」や「自己有用感」を育み高めていかなければなりません。右にそのための方策を例示いたしました。ご参照いただければ幸いです。(この逆は下げる方法となります)



【7月の行事予定】

2日(木) 環境衛生検査

5日(日) ノーゲームデー

6日(月) ~ 体力テスト週間⇒2学期に延期

10日(金) 全学年遠足【校外学習】、漢字検定

14日(火) 内科検診

16日(木) 5年宿泊学習保護者説明会(16:00~、体育館)
中旬 6年修学旅行保護者説明会

20日(月) 児童引き渡し訓練⇒2学期に延期

20日(月) ~ 31日(金) 全学年教育相談(4月継続)

23日(木) 海の日、24日(金) スポーツの日

27日(月) ~ 児童アンケート

8月7日(金) 1学期始業式

8月8日(土) ~ 17日(月) 夏季休業

8月18日(火) 2学期始業式



自己肯定感を高める方法

- その子の全てを認め、愛情深く接する。
- 目標をもたせ、頑張った、できたという成功体験を味わわせる。
- 小さな変化でも頑張ったこと、できたことを認めて褒める。
- 他者との比較で評価せず、個人的な変容を大切にする。

自己有用感を高める方法

- その子の全てを認め、愛情深く接する。
- その子の話をじっくりと聴いてあげる。
- 役割(活躍の場)を与え、完璧にできていなくても、頑張ってくれたことに感謝の気持ちを表す。
- 人のために進んで行ったことは、大いに褒めて、周りの人にも知らせる。

～学校の新しい生活様式のポイント～



【基本的な対策】

- 手洗いは、流水と石けんで、こまめに、丁寧に（30秒程度）行います。
- マスクは、児童及び教職員ともに、常時着用します。
※熱中症の心配があるときや体育の授業等では外す場合もあります。
- 換気を、定期的に行います。※ 教室内の温度は適切に管理します。
- 消毒は、1日1回以上、手でよく触れる場所や教具を消毒液で清拭します。
- 身体的距離（座席配置）を、可能な限り1～2メートル確保します。
- 発熱などの風邪症状がある場合は、自宅で休養させてください。
※その場合、「校長が出席しなくてもよいと認めた日」として取り扱います。

各自に必要な持ち物

清潔なハンカチ、ティッシュ、マスク、マスクを置く際の清潔なビニールや布など

【感染症の学習】子供たちが、新型コロナウイルス感染症について正しく理解し、

- 自分から感染リスクを避けることができるように指導します。
- 差別や偏見のない適切な行動をとることができるように指導します。

【臨時休業等の判断】

- お子様に感染等の事由が生じた場合は、出席停止等の対応を行います。
- 保健所等の助言を受け、学校内での活動の状況や地域の感染拡大の状況を踏まえ、臨時休業の必要性や規模（学級・学年単位、学校全体）等を判断します。

学校の行動基準

地域の感染レベル	身体的距離の確保	感染リスクの高い教科活動	学校給食
レベル3 特定（警戒）相当	できるだけ2m （最低1m）	行わない	配膳を省略 できる献立
レベル2 感染拡大注意相当		リスクの低い活動（給食提供）から 徐々に実施	
レベル1 レベル2未満	1mを目安	十分な感染対策を行った上で実施	



道徳ってどんな時間？

道徳は、「特別の教科 道徳」と言う教科になり、自分の気持ちや考えを出し合う時間で、友達の考えを聞いていろいろな考え方があることを知る時間で、答えを合わせたり、間違いを指摘したりする時間ではありません。大切なことは、

- ① 自分の考えをもつこと
- ② 友達の話をしっかり聞くこと
- ③ 自分の考えはいつでも変えてよいこと。また、変えた理由を言えること

子どもたちが、道徳的価値や道徳的な判断力について、より深く考えられるように授業を工夫していきます。また、道徳の内容は下記のように4つの視点があり、1年間まんべんなく学習するように計画されています。

- ① 自分自身に関すること（善悪の判断、正直・誠実など）
- ② 人と関わりに関すること（感謝、礼儀、親切、友情など）
- ③ 集団や社会との関わりに関すること（規則、勤労、郷土愛、国際理解など）
- ④ 生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること（生命の尊さ、自然愛護など）

よりよく生きるための基盤となる道徳性は、学校教育全体を通して育てていきます。各教科やその他の教育活動における道徳教育と関連を図りながら、道徳的判断力や心情、実践意欲や態度を育てていきます。



何か壊したときは
どうする？

セイフティーネットにご協力を！

本校では、子どもたちの安全を守る目的で、学校・家庭・地域の三者で『セイフティーネット』を組織しています。今年度も子どもたちの登下校時の安全を見守っていただきたいと思います。保護者の皆様は別紙公募のお願い文書にてご協力をお願いします。地域で新たにご協力いただける方は、各町内会長・青少年部長、または若草小教頭までご連絡ください。

～町探検 校外学習～

2年生の生活科や3年生の社会科の時間で、地域を知る学習があり、学校周辺や駅周辺やカルチャーパーク周辺を散策しました。日頃はあまり意識していなくても、いろいろな施設があることをあらためて知ることができました。



【6月のコーヒータイム】

○臨時休業が終わり、いよいよ学校が本格的にスタートしました。行事等は例年とは異なりますが、本校の教育活動に対して保護者や地域の皆様にご協力をいただきと思います。